

平成 29 年度

臨時総会議案書

一般社団法人釜石観光物産協会

釜石市鈴子町 22 番 1 号

釜石物産センター（シープラザ釜石）内

電話:0193-27-8172 FAX:0193-27-8173

議案第1号 釜石観光物産協会の一般社団法人への移行に伴う財産の取得について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成 18 年6月2日法律第 48 号)に基づく、釜石観光物産協会の平成 30 年4月1日からの一般社団法人への移行に伴い、釜石観光物産協会が所有するすべての財産は、一般社団法人釜石観光物産協会に帰属させることとなっていることから、この取得について承認を求める。

記

1. 取得する財産 釜石観光物産協会の平成 29 年度における決算剰余金

平成30年度事業計画(案)

【経過】

昨年6月2日に開催の総会で(一社)釜石観光物産協会の定款や設立時理事、主たる事務所の位置などが承認されたことから、その後盛岡地方法務局において登記手続きを行い同月13日、一般社団法人が成立しました。

このことを受け、各所管官庁に対して法人設立などの手続きを行うとともに、運営に際して必要な諸規程等も整備したことから、釜石観光物産協会はこの4月1日をもって一般社団法人へ移行し、観光及び物産振興に係る事業をより一層充実し展開していこうとするものです。

なお、昨年の釜石観光物産協会の定時総会において、その決算剰余金を処分し一般財団法人へ帰属させることについて承認されていることから、決算終了後3か月以内に行われる定時総会をもって従来の協会は解散し、完全に移行されるものです。

【方針】

橋野鉄鉱山のユネスコ世界遺産登録から3年を迎えるとともに、ラグビーワールドカップ2019™や三陸防災復興博(仮称)の開催を1年後に控え、また、JR山田線や高速交通網も概ね本年度内に復旧及び整備される予定となっていることから、一般社団法人へ移行後の釜石観光物産協会としては、従来に増して観光客の「おもてなし」に取り組んでいく必要があります。

しかし他方、復興需要の落ち込みなどに伴い流入人口の減少が顕著となっています。このため、特にも宿泊施設やボランティアガイド会をはじめとする関係者と協力し合いながら、観光客の誘致宣伝活動や独自の商品企画などにも力を入れていきます。

さらに、現在DMO法人の設立が進められていることから、復興スタジアムや魚河岸にぎわい施設、鶉住居観光交流施設、震災メモリアルパーク、根浜海岸観光施設など整備が進められ、あるいは今後整備が予定されている施設を視野に入れつつ、将来的な協会の方向性についても検討を進めてまいります。

【主要な事業】

1. 様々な媒体を通じた宿泊や飲食、土産品などの観光情報の提供
2. 観光客の誘致促進及び外国人観光客の増加に向けたインフラ整備
3. 広域的な連携による観光と物産の振興

4. 観光ボランティアガイド会の協力による観光ガイド
5. 市から委託された橋野鉄鉱山のPRとシャトルバスの運行
6. 市からの補助や委託によるイベント等の展開
7. 観光に関する知識の涵養
8. 市内経済の振興に資する各事業所間の連絡と調整

【事業内容】

1. 観光事業

- ・ 観光客誘致説明会や修学旅行誘致説明会への参加
- ・ 市の補助や委託による観光や物産イベントの開催
- ・ 協会単独の観光イベントの展開
- ・ 観光ボランティアガイド会や他の観光関係者との連携による旅行商品等の企画
- ・ モバイルWi-Fiルーターの貸し出し
- ・ 橋野鉄鉱山直通シャトルバスの運行及び現地ガイドの配置
- ・ ラグビーワールドカップ2019™関連事業への協力
- ・ 陸中海岸魚彩王国実行委員会事業やふるさと広域観光協議会事業への参加と協力
- ・ 鉄道をはじめとする交通事業者等との一層の連携強化
- ・ 観光に関するセミナー等の開催
- ・ レンタサイクル事業の実施
- ・ 高速バス等のバス券、及び郵券の販売業務

2. 観光案内業務

- ・ 各種パンフレットやマップ等の作成
- ・ 宿泊、飲食店、特産品情報を掲載するホームページの充実
- ・ フォルクローロ三陸釜石に設置する観光総合案内所の通年開設
- ・ 観光ボランティアガイド会の協力による橋野鉄鉱山での現地ガイド
- ・ 釜石旅館ホテル組合との連携による宿泊案内の推進

3. 観光物産イベントの開催

- ・ かまいし春まつり
- ・ あったかメルヘン・夢灯り（仮称）
- ・ SL銀河おもてなし事業
- ・ 根浜海岸海開き
- ・ 釜石納涼花火2018
- ・ 釜石まるごと味覚フェスティバル
- ・ 第9回全国虎舞フェスティバル

4. 物産展等への出展事業

- ・ 東海秋まつり（愛知県東海市）
- ・ 横手かまくら・ほっこり横丁（秋田県横手市）
- ・ 梵天コンクール・旭岡山神社梵天奉納祭（秋田県横手市）
- ・ にっぼり秋まつり荒川区交流都市フェア（東京都荒川区）
- ・ 北九州農林水産まつり（福岡県北九州市）
- ・ 北九州ランラン食フェスタ（福岡県北九州市）

5. 共催・後援事業

- ・ 五葉山山開き
- ・ 薬師公園さくら祭り
- ・ 釜石さくらまつり
- ・ 釜石うみやま郷土芸能大競演祭
- ・ 釜石よいさ
- ・ 釜石オープンウォータースイミング大会
- ・ 釜石はまゆりトライアスロン国際大会
- ・ 釜石まつり
- ・ かまいし仙人峠マラソン大会
- ・ Oh!マチ Music Festa
- ・ いわて童謡唱歌釜石のつどい
- ・ 佐野よりこ民謡公演

議案第3号 平成30年度収支予算(案)について

平成30年度 収支予算書 (案)

(収 入)

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	積 算 内 訳
会 費	2,000,000	1,400,000	600,000	会員会費 2,000,000
負 担 金	300,000	0	300,000	イベント関連負担金 300,000
補 助 金	15,571,000	13,500,000	2,071,000	釜石観光物産協会運営事業 3,571,000 再生かまいし四季彩イベント事業 12,000,000 (釜石納涼花火2018事業、根浜海岸海開き事業、かまいし春まつり事業)
委 託 料	25,210,000	23,243,000	1,967,000	釜石活性化イベント事業 14,920,000 (伝統芸能「釜石虎舞」全国発信事業、釜石まるごと味覚フェスティバル事業、S L 銀河おもてなし事業等) 観光総合案内所及びガイド待機所運営事業 5,068,000 県外物産展PR事業 2,097,000 橋野鉄鉱山直通シャトルバス運営事業 2,385,000 橋野鉄鉱山ボランティアガイド配置事業 740,000
助 成 金	960,000	1,060,000	△ 100,000	いわて産業振興センター 60,000 アサヒグループホールディングス 900,000
手 数 料	199,000	200,000	△ 1,000	岩手県交通販売手数料 199,000
協 賛 金	1,750,000	326,000	1,424,000	イベント協賛金 1,750,000
参 加 料	10,000	100,000	△ 90,000	イベント参加料 10,000
雑 収 入	600,000	496,255	103,745	ガイド料、レンタサイクル、出店小間料等 600,000
収入合計	46,600,000	40,325,255	6,274,745	
繰 越 金	1,500,000	3,882,745	△ 2,382,745	
合 計	48,100,000	44,208,000	3,892,000	

(支 出)

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	積 算 内 訳		
事 業 費	観 光 事業費	14,981,000	9,400,000	5,581,000	釜石納涼花火2018事業	11,850,000
					かまいし春まつり事業	1,050,000
					根浜海岸海開き事業	1,000,000
					あったかメルヘン・夢灯り（仮称）事業	700,000
					観光客誘致宣伝事業	381,000
	物 産 事業費	2,098,000	2,709,000	△ 611,000	物産イベント等事業	2,098,000
	受 託 事業費	14,209,000	13,497,000	712,000	伝統芸能「釜石虎舞」全国発信事業	3,400,000
					釜石まるごと味覚フェスティバル事業	5,149,000
					S L 銀河おもてなし事業	1,000,000
					観光総合案内所及びガイド待機所運営事業	1,435,000
橋野鉄鉱山直通シャトルバス運行事業					2,385,000	
橋野鉄鉱山現地ガイド配置事業					840,000	
小 計	31,288,000	25,606,000	5,682,000			
管 理 費	管 理 費	16,612,000	16,535,000	77,000	常勤役員報酬	120,000
					役職員給料（2名分）	4,920,000
					職員手当等	688,000
					職員福利厚生費	1,098,000
					臨時職員賃金（2名分）	3,360,000
					臨時職員手当等	536,000
					臨時職員福利厚生費	848,000
					報償費	65,000
					旅費交通費	256,000
					消耗品費	770,000
					印刷製本費	350,000
					修繕料	20,000
					賄材料費	10,000
					交際費	240,000
					会議費	200,000
					通信運搬費	660,000
					広告料	250,000
					使用料	870,000
					手数料	180,000
					備品購入費	30,000
負担金	330,000					
公租公課	761,000					
雑費	50,000					
小 計	16,612,000	16,535,000	77,000			
支出合計	47,900,000	42,141,000	5,759,000			
予 備 費	200,000	2,067,000	△ 1,867,000			
合 計	48,100,000	44,208,000	3,892,000			

1. 一般社団法人の前年度予算額は2,600,000円であるが、昨年度と比較しやすいよう旧協会の予算額を計上した。
2. それぞれの予算に不足を生じた場合は、会長が定める手続きにより流用することができる。
3. 予算を補正する必要が生じたときの扱いについては、理事会に一任する。